

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者<sup>※</sup>の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

### <研究課題名>

DNA メチル化情報を用いた消化器癌の病態解明および診断・治療開発

### <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 消化器外科 教授（研究責任者）岡村 行泰

### <研究期間>

機関の長の初回許可日 ～ 令和13（西暦2031）年3月31日

### <対象となる方>

日本大学医学部附属板橋病院にて西暦2012年1月1日から西暦2016年12月31日までに肝細胞癌あるいは大腸癌の診断で通院・入院した方のうち、ヒトゲノム・遺伝子解析研究「消化器癌のゲノム・遺伝子解析とその病理組織学的意義の解明」（許可番号131）の研究参加に同意され、書面で同意をすでにいただいている方を対象にしております。

### <研究の目的>

DNA メチル化修飾に関して、メチル化率やメチル化の複雑性を解析し、消化器癌の発がんメカニズムの解明や、異常メチル化を伴う遺伝子を用いた腫瘍の診断、治療に応用可能な候補分子・領域を見出すことが目的です。がん細胞には正常細胞にはほとんどないようなDNAの変異やDNA修飾であるメチル化異常が数多く含まれています。これを解析することで、がん細胞が存在することや、どのようなタイプのがんが存在するのかを予測できれば、がんの診断や治療に有用な情報が得られると考えられます。

### <研究の方法>

日本大学医学部ヒトゲノム・遺伝子解析研究「消化器癌のゲノム・遺伝子解析とその病理組織学的意義の解明」（許可番号131）にて採取された既存検体（凍結臨床組織、血液検体）よりゲノムDNAを抽出します。抽出したゲノムDNAを用いてDNAの塩基配列および修飾情報を全ゲノム領域にわたって解析します。がん細胞を含まない非癌部組織と癌部組織を比較することで、癌組織でのみ観察されるメチル化異常部位を探索します。メチル化異常には全体的および局所的メチル化率だけでなく、ヒドロキシメチル化率や、メチル化修飾の不均一さなども評価します。がんだけにみられる異常メチル化を見つけることができれば、同じ異常を血液でも検出できるかどうか、解析を行います。

### <研究に用いる試料・情報の項目>

血液、外科的に切除された臨床組織、検査データ、個人関連情報（年齢、性別など）

### <外部への試料・情報の提供の方法>

採取させていただいた試料（組織検体・血液）は東京大学先端科学技術研究センターへ凍結した状態で送付されます。検体より抽出したゲノム・遺伝子情報が解析されます。また臨床情報など個人関連情報はパスワード

で保護された記録媒体で匿名化された状態で提供され、パスワードは別途電子的によって送付されます。本研究に関しまして同意撤回する場合には、下記のお問い合わせ窓口にご連絡ください。データ公表前の場合にはデータを破棄修正いたします。公表後の場合には修正が非常に困難であるため、修正に応じることができません。

< 試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名 >

提供開始予定日：機関の長の初回許可日～研究終了まで

東京大学先端科学技術研究センター 所長 杉山 正和

< 研究を実施する機関組織 >

日本大学医学部附属板橋病院・消化器外科 部長 岡村 行泰

東京大学先端科学技術研究センター・ゲノムサイエンス&メディシン分野 特任准教授 永江 玄太

< お問い合わせ窓口 >

日本大学医学部附属板橋病院

東京都板橋区大谷口上町30-1

診療科： 消化器外科

研究責任者（氏名）： 岡村 行泰 （ふりがな： おかむら ゆきやす）

電話：03-3972-8111（代表）

連絡先： 消化器外科 医局 内線：2471 PHS：8215

FAX：03-3957-8299

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方